

ココロがある。

ミニディスクロージャー誌

お客さまとともに

平成 20 年 9 月 期

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)



ココロがある。コタエがある。

西日本シティ銀行

目指す銀行像の実現へ。

国内トップレベルのサービスを
地元で提供し、
お客さまとともに栄える
九州No.1バンク。

Contents

ココロがある。SIDE

① トップインタビュー

② 地場産業発展のために

③ 日々のお役に立つために

④ 地域の皆さまとともに歩いていくために

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って
時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する
“九州No.1バンク”を目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、
圧倒的に支持される銀行をめざします。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社
会的責任を果たすことで広く信頼される銀行を
めざします。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達
で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に
対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、
チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、
価値のある提案をお届けします。

西日本シティ銀行のいまについて

取締役頭取 久保田勇夫

どのような銀行を 目指しているのですか

「国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を目指す銀行像として掲げています。

お客さまのご要望にお応えすることはもちろんですが、長いお付き合いをさせていただくために、お客さまの期待を超えた第一級のサービスを地元でご提供すること、そして、地域の皆さまの繁栄と私どもの繁栄は不可分であるとの認識のもと、地域の皆さまとの一体的な成長を通じて九州No.1バンクとなることを目指しています。



これを実現するためのファーストステップとして、平成20年4月より中期経営計画「New Stage 2008」をスタートし、それに基づいた具体的施策を実施しています。

例えば、地元企業の皆さまの事業国際化をサポートするための「国際営業部」の設置や個人のお客さまのライフプランを幅広くサポートするために営業店へ「資産運用アドバイザー」を配置するなど、体制面での整備をしましたし、また、お客さまのご要望によりよくお応えするため適材適所の人材登用などを進めています。

経営環境は

サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱や景気後退懸念の高まりを受け、国内金融市場も混乱いたしました。また、大手銀行の拡大戦略、ゆうちょ銀行の業務範囲の拡大など競争環境は厳しさを増しています。

そのような中、私どもは、役員員一致協力し、地域金融機関として、お客さまのお取引の安全と利便性の向上、中小企業金融の円滑化などに一層努めています。

これからについて

お客さまが何か困ったことがあった場合に、私どもが一番に思い出していただき、ご相談いただける銀行でありたいと思っております。それによりお客さまと長いお付き合いをしていきたい。そういった銀行であるために目指す銀行像「国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク」の実現にむけて邁進し、地域の経済発展に貢献してまいります。

地元企業と共に
地域の繁栄を目ざします。



新商品開発や新規事業展開を支援するために

企業には企業それぞれのニーズがあります。

当行は、さまざまな目的を持つファンドへ出資を行っており、これらのファンドを通じて、これまでのような融資では解決できないお取引先のニーズにお応えしています。

平成20年6月に九州の地元企業の事業再生や組織再編支援のため、株式会社ドーガン・インベストメンツが設立した事業再生ファンド「九州BOLEERO投資事業有限責任組合」（愛称：九州BOLEEROファンド）への出資を行いました。

また、平成20年8月には、地元老舗企業の第二創業・ベンチャー企業等への支援のため、ベンチャーファンド「西日本チャレンジファンド2号」を設立し、株式会社九電工とともに共同出資しました。これにより県内のベンチャー企業の新商品開発資金や老舗企業の新規事業展開資金を支援してまいります。

地域内の「知」の橋渡し

わが国の産業の基盤を「ものづくり」が支えているのは今も昔も変わりません。近年、製造業をはじめとする企業の研究・開発において「知の集積地」である大学の活用が、活発化しています。また、行政も地域経済の発展のため、地域産業との連携を強化してきました。これらの産学官連携は製造業の技術開発にとどまらず、それぞれのノウハウの相互活用を目的にさまざまな分野に及んでいます。

当行は、地場産業の発展に寄与するためこうした大学、行政、地元企業の橋渡し役として、産学官連携に取り組んでおり、福岡大学に続き、福岡工業大学及び西南学院大学、並びに環境問題、地元企業育成等に積極的に取り組む北九州市とそれぞれ協定を締結しました。



福岡工業大学との協定調印式



西南学院大学との協定調印式

お客さま同士のお引き合わせの場

「今までビジネスの話をしたことがない企業と話をする機会がないだろうか。」そんなお取引先の声をかたちにし、商談の機会をご提供するビジネス商談会を積極的に開催しています。

平成20年10月開催の「東急ハンズ」九州まるごと商談会[®]では、当行が事務局となり、九州各県に本店を置く7つの地方銀行（鹿児島・佐賀・十・筑邦・長崎・肥後・豊和）と連携し、各行とお取引のある九州一円の企業に東急ハンズとの商談の機会をご提供しました。九州各地からの参加企業は190社にのぼりました。

今後もお取引先の販路の拡大及び経営のお役に立つ商談会を開催してまいります。



お取引先の販路拡大などをお手伝いするための商談会開催を企画しています。

開催回数は30回となり、その間1千件以上の商談をお手伝いすることができました。

今後もお客さまの、そして地域経済の発展のお役に立ちたいと思っています。



法人ソリューション部
調査役 井上 郁朗
山中 康子

九州の元気を応援します。

「志、情熱企業」
～中小企業紹介テレビ番組～



技術力・ノウハウ等特徴ある地元企業を紹介するTV番組を毎週放映中です。

当行ホームページ (<http://www.ncbank.co.jp>) でも内容をご覧いただけます。

地元企業の国際ビジネスを
サポートします。



国際営業部設置

成長著しい東アジア経済圏(中国、韓国、ベトナム、タイ等)などに対する地元企業の皆さまの国際ビジネス拡大に向けて、現地情報や進出ノウハウの提供力を強化するために、「国際営業部」を新たに設置しました。(平成20年5月)

国際ビジネスに関して国内トップレベルのサービスを地元で提供できるように、海外の現地トップクラスの金融機関との提携などによりこれまで以上に海外情報ネットワークの拡充を進めてまいります。

また、著しい為替変動リスクを回避するための仕組の提供(為替デリバティブ商品の提案など)を通じて、海外との取引を行う地元企業の皆さまの為替対策を支援しています。



香港および華南地区「第二回 日系企業ビジネス交流会」開催

平成20年6月に香港に支店や駐在員事務所を持つ地方銀行16行との共同による「第二回日系企業ビジネス交流会」を中国広東省深圳市で開催しました。

「ネットワークを広げ、ビジネス情報交換が出来る場が欲しい」とのご要望にお応えするために開催されたこの交流会には、約300名の香港・華南地区日系企業の皆さまに参加いただきました。

商談ブースでは熱心な商談が行われ、「有意義な情報交換ができたなどの感想や今後の継続開催を望む声が多く寄せられました。

今後も海外での商談会などの開催により、皆さまの事業の国際化を支援してまいります。



「ベトナム経済・投資セミナー」開催

平成20年10月に「チャイナ・プラス・ワン(注)」として先進各国から注目を集めるベトナムの最新情報をお伝えする「ベトナム経済・投資セミナー」を開催しました。

当日は、ベトナムの経済状況等にご興味のある多くの皆さまに参加いただきました。

セミナーでは、さまざまな方面からの最新の同国現地情報をお届けするため、講師には、ベトナム経済に詳しい経済学者、現地の政府高官、ベトナムに進出している地元企業経営者などの皆さまをお招きし、基調講演やパネルディスカッションを通じて、同国への進出ノウハウや具体的な事例紹介を行いました。

(注)「チャイナ・プラス・ワン」：投資リスク分散のため、中国以外にも生産拠点を構えようとする動き



香港駐在員事務所
所長 山内 久幹

香港駐在員事務所では、香港・中国華南地区をはじめチャイナ・プラス・ワンとして注目を集めるベトナムやタイなどのアセアン地域を中心に活動し、当行お取引先企業へ海外ビジネスマッチングや進出サポートおよび現地情報などの提供を行っています。

アジアとのビジネスロードをより身近に感じていただけるよう、地元のお客さまを全力でバックアップいたします。

いつでも
お客さまのニーズに
お応えしていきます。



もうひとつの窓口です。

「振込をしたいけど銀行窓口に並ぶのはちょっと時間が…」

そんなお客さまにご利用いただきたいのがお振込、預金の振替、残高照会などができる個人のお客さま向け「NCBダイレクト(注)」。

電話による「テレフォンバンキング」、パソコン利用の「インターネットバンキング」、携帯電話利用の「モバイルバンキング」をご用意しています。

また、「ローンの相談はしたいけど店頭ではちょっと…」電話で資産の運用の相談ができないかしら。」

そんなお客さまには、フリーダイヤルで住宅ローンのご相談やカードローンのご相談・お申込等ができる「ローンコールデスク」、そして、預金商品をはじめとする資産運用のご相談などには「NCBナイスコール」がおすすめです。

(注)NCBダイレクトは事前の登録お申込及び基本手数料が必要です。

NCBナイスコール

ナイス コール
☎ 0120-714-506
預金商品について

ローンコールデスク

ナイス クイック
☎ 0120-714-919
ローン商品について

【受付時間】
平日9:00~20:00
(銀行休業日は除きます)

NCBいつでもプラザ (インスタアブランド)

平日は20時まで、土日祝日も17時までご利用いただける「NCBいつでもプラザ」。

福岡県下12ヶ所(福岡市及びその近郊に6店舗、北九州地区に3店舗、筑後地区に3店舗)の大型ショッピングセンター内で毎日営業しています。

お客さまの「できたらいいな」にお応えして「資産運用やローンのご相談」、「普通預金の口座開設(注)」が平日15時以降も、また、土日祝日もご利用いただけます。

平成20年10月からは、「医療・がん保険」のお申込受付も開始しました。

平日でも土日祝日でも…お買物にあわせて、お近くの「NCBいつでもプラザ」にお気軽に立ち寄りください。

(注)「普通預金の口座開設」は、平日は19時までのお取扱いです。

*営業日は5/3～5、年末年始12/31～1/3とショッピングセンターの店休日を除きます。

NCBいつでもプラザ一覧

- 田島支店(ダイエー笹丘店内)
- 福岡東サティ出張所
- ゆめタウン行橋出張所
- ショッパーズモールマリナタウン出張所
- ゆめタウン筑紫野出張所
- ゆめタウン久留米出張所
- イオンスーパーセンター古賀店出張所
- 戸畑サティ出張所
- ゆめタウン大牟田出張所
- 赤間支店(サンリブくりえいと宗像内)
- ゆめタウン遠賀出張所
- ゆめタウン大川出張所

【営業時間】平日10:00～20:00 土日祝日10:00～17:00 ※田島支店、赤間支店は平日9:00より、ゆめタウン遠賀は平日18:00まで

プラスα(アルファ)の窓口

福岡の中心地、「天神」で曜日や時間を気にせずゆっくりご相談いただける「NCBα(アルファ)天神」。

お勤め帰りのお客さまや平日に銀行にお越しいただくことができないお客さまにもご利用いただけるよう、平日19時まで土日祝日も17時まで営業し、資産運用などのご相談に専門スタッフが応えます。お客さまの現在のお取引店舗に関係なく、全てのお客さまのご相談にお応えしますので、お気軽に「(お取引店舗)プラスαの窓口」としてご利用ください。

また、現在の経済情勢や当行がお取扱している資産運用商品の紹介をテーマとする無料セミナーなども月に10回程度開催しています。

ぜひ一度「NCBα(アルファ)天神」へご来店ください。

*営業日は5/3～5、年末年始12/31～1/3を除きます。



NCBアルファ天神出張所
支店長代理 高光 道子

お客さまから「ゆっくり相談できてよかった。」「今日はあなたとお話ししてよくわかった。」などのお言葉をいただくと、たいへんうれしく、お客さまのためにもっと勉強してがんばろうと、日々お客さまからパワーをいただいている感じがします。

資産運用を始めてみたい方はもちろん、既に当行で資産運用商品をお持ちの方にも、ゆったりとした雰囲気、じっくりご相談いただけます。無料セミナーへのお越しもお待ちしております。

お客さま一人一人の人生設計に
お応えできる保険商品の充実♪
医療保険・がん保険192ヶ店で取扱いはじめ

お客さまの人生設計はさまざまです。

多様なご要望に積極的にお応えするために、「医療保険・がん保険」の取扱い店舗を平成20年10月より拡大しました。

これまでの資産運用タイプの商品に加え、保障タイプの「医療保険・がん保険」を皆さまのお近くの各店舗でご紹介できるようになり、お金のことも保険のこともこれまで以上に相談いただける窓口となりました。



ローン専用サイト

「ナイススイック.jp」をご存知ですか？

住宅ローンやマイカーローンなどの各種ローンに関するシミュレーションやお申込など、さまざまな機能が充実したローン専用のインターネットサイト「ナイススイック.jp」を開設しています。

パソコンや携帯電話から、シミュレーションやご相談、仮審査のお申込みなど、いつでも便利にご利用いただけます。

平成20年11月からは、住宅ローンのお申込みが可能になるなど、さらに機能が充実しました。

*銀行、及び保証会社所定の審査の結果、ご希望にそえない場合もございます。あらかじめご了承ください。

スムーズなご案内を目ざして

店内に入った時、どの窓口に行けばいいか一瞬迷うときがあると思います。最初にお客さまをお迎えする場所として、ご要望に応じた窓口をスムーズにご案内する「ウェルカムデスク（総合受付）」の設置をすすめています。

平成20年9月には、移転リニューアルオープンした渡辺通支店に設置しました。比恵支店、天神支店に続き3ヶ店目の設置となります。

シミュレーション
相談機能が充実
714919.jp
ナイススイック

ポイントに応じたいろいろな特典があります♪
「NCBポイントサービス」

「NCBポイントサービス」とは、お客さまのお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて各種の特典をご提供するサービスです。お客さまごとの合計ポイントに応じて、ローン金利優遇、ATM時間外手数料無料等の特典をご用意しています。

お取引店を最高5ヶ店まで登録してポイントを合計することができ、合計されたポイントは、登録したすべてのお取引店で適用されます。

また、平成20年9月にポイント化の見直しを行い、一部の取引項目のポイントをアップしましたので、これまでよりもポイントがたまりやすくなりました。年会費等手数料は不要です。ぜひご加入ください。

*特典を受けるためには、「ポイントサービス」への事前のお申込が必要です。サービスの詳細はお近くの窓口にお問合せください。



お客さまのライフイベントに合わせて

「ライフイベントに合わせて資産運用」と聞くとちょっと大変で難しく感じるかもしれません。

この先の人生という長い期間で、「10年後のマイホーム購入」や「15年後の退職のために貯蓄を」、「将来子どもたちに遺すために」など色々な思いを皆さまお持ちと思います。

私たちは、その時々に必要なお金に関するさまざまなことを見据えた具体的な資産運用のアドバイスやご提案により、皆さまの思いの実現をお手伝いしたいと思っています。

各店舗の資産運用アドバイザー・窓口担当者に加え、平成20年10月に新設した本部プライベートバンキング室のファイナンシャルアドバイザー、チーフマネージャーアドバイザー、プライベートバンカーがちょっと大変そうにみえる資産運用や相続・事業承継等のご要望にきめ細かいサービスで対応いたします。

プライベートバンキング室 渡辺通支店駐在

チーフ・マネージャー・アドバイザー 白石 純子



担当エリア内の各営業店の担当者と連携し、お客さまのライフプランに応じた資産運用のお手伝いを

しています。普段なんとなく聞きそびれているお金に関する疑問などにもお応えしますので、お気軽にご相談ください。

これからもお客さまに喜んでいただけるようなご提案が出来るように頑張ります。

安心に向けて取組んでいます(金融犯罪対策)

○振り込め詐欺被害の未然防止対策の実施について

当行では、店舗内・店舗外の全てのATMコーナーにおいて、振り込め詐欺被害の未然防止のため、お客さまに携帯電話の通話を自粛していただいております。

当行のATMコーナーで、携帯電話で通話されているお客さまには、犯罪被害未然防止の観点から行員より声をかけさせていただく場合がございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

○振り込め詐欺救済法への対応について

平成20年6月21日に「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律」(振り込め詐欺救済法)が施行されました。この法律は、被害者救済の観点から、振り込め詐欺等の犯罪に利用され口座凍結して残存している犯罪被害資金を、被害者の方へ返還する手続等を定めた法律です。

当行は今後、同法に則って、当行口座に振り込みをされた被害者の方へ、犯罪被害資金を返還してまいります。

振り込め詐欺
預金不正払戻しの
ご相談は
「金融犯罪被害に
関する相談窓口」へ

☎ 0120-797-919

【受付時間】
平日 9:00~17:00
(銀行休業日は除きます)

○預金の不正な払戻しへの対応について

平成20年7月1日から、個人のお客さまの盗難通帳(証書)やインターネットバンキングによる被害につきまして補償を行うことといたしました。

当行では、以前より預金者保護法に則って、個人のお客さまの偽造・盗難キャッシュカード等による被害の補償を実施し、一方でICキャッシュカードや生体認証の導入など被害を防止するための方策を講じております。

詳細につきましては、当行のホームページをご参照ください。

西日本シティ銀行では、お客さまに安心してお取引いただけますよう、振り込め詐欺等の金融犯罪被害発生防止並びに被害者の方への迅速な対応に取組んでまいります。



地域の未来と将来を 共に考えていきます。



「お金のがっこう」で銀行探検

「ぎんこうってどんなところ？」

「お金ってなんだろう。」

子どもたちにはそんな素朴な疑問があります。

子どもたちと一緒にその疑問を考え、楽しみながらお金や経済の仕組みについて学んでもらうために、平成20年8月に小学5・6年生のお子さんを対象にキッズサマーキャンプ「お金のがっこう」を開催しました。

当日参加したお子さんたちは、銀行内の貸金庫室や普段見る機会のないコールセンターなどの施設見学をして銀行を探検したり、お札を扇のように開いて数える練習をしたりしました。また、金融知力インストラクターの資格を持つ当行員と一緒に、お金の役割や銀行の役割についてクイズ形式で学習会を行いました。

子どもの頃からお金の大切さを知ってもらい、社会のことや将来のことを考える力を養う金融経済教育をこれからも行ってまいります。

中学生1万人を ミュージカル「ライオンキング」へ招待

平成20年6月から11月にかけて、劇団四季ミュージカル「ライオンキング」へ次世代を担う福岡市内の中学生1万人を招待しました。

本物の舞台芸術鑑賞を通じて感動の機会を提供するとともに、夢と希望、命の大切さ、愛情の素晴らしさを伝えることを趣旨とした文化支援事業です。

参加した中学生の皆さまからみずみずしい感性でつづられた数多くの公演鑑賞感想文をいただきました。当行ホームページにその一部を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

また、当行は数々の劇団四季ミュージカルにも協賛サポートを行っています。



社会にはばたく前に 新社会人向け金融経済講演会

学生時代には触れる機会が少ない実社会における実践的な金融・経済の基礎的考え方を聞き学び、今後の進路に役立ててもらいたい。このような思いから、平成20年5月にこれから社会に羽ばたく地元を中心とした大学3・4年生約100名を招き金融経済講演会「新社会人のためのマクロ経済の常識」を開催しました。

学生が社会に出る前に知っておきたい国内外の経済学の動向を踏まえた研究成果、経済政策などを実務上の観点から解説・講演いたしました。

今後とも地域の皆さま向けに、地域経済の活性化のお役に立つ金融経済情報をさまざまなかたちでお届けします。



ふるさと歴史シリーズ

「博多に強くなるろう」「北九州に強くなるろう」

博多・北九州には、興味深い歴史や人物のお話がたくさんあります。これらの身近でありながら詳しく知る機会がないお話から皆さんが良く知っていたお話まで、さまざまな方々にわかりやすくお話ししていただいたものを小冊子として発行しています。

昭和54年に開始したこの「博多に強くなるろう」「北九州に強くなるろう」シリーズはすでに93号となっています。最新刊の「西鉄ライオンズ栄光の野武士軍団」では、稲尾和久氏からおうかがいした当時の貴重なお話を掲載しています。

このシリーズの全巻全文を当行ホームページに掲載していますので、ぜひ一読ください。



地球環境に配慮する企業を応援しています

環境保全活動への関心が高まる中、企業の環境保全への取組みにも関心が寄せられています。

そのような地球環境へ配慮する企業の取組みに私たちも金融面で参加したいという思いから生まれたのが「環境私募債」です。私募債は、厳しい適債基準をクリアした企業のみが発行できる社債ですが、その中でも特に環境に配慮した活動を行っている企業が私募債を発行する際のコストをさらに優遇することで、その企業への取組みをサポートします。

平成20年2月の取扱開始から9月までの期間に、11件のお取引先がこの環境私募債を発行されました。



環境情報発信

環境に関心の高いお客さまが、環境界のお話を聞く機会として「地球温暖化対策と排出権ビジネスセミナー」を平成20年6月に開催しました。

このセミナーは、平成20年3月に締結した福岡大学との産学連携の一環として開催したもので、日本の地球温暖化対策の現状や排出権ビジネスの現況など、各界で現在活躍中の方々による講演を行いました。

セミナー会場では、学術研究内容のパネル展も開催され、セミナー参加の皆さまと研究者の方々との出会いの場となりました。

今後も地域の皆さまへの環境情報発信をさまざまなかたちで行ってまいります。



ローソンATMを活用した「CO₂オフセット運動」を実施

平成20年7月から9月にかけて、地球温暖化防止活動の一つとして、ローソン及びローソン・エイティエム・ネットワークス(LANS)とタイアップして「CO₂オフセット運動」を実施しました。これはお客さまが福岡県内のローソンATMをご利用されると、当行とLANSがオフセットに必要な費用(排出権購入費用)を負担し、1取引につきCO₂200g分をオフセット(二酸化炭素等排出の埋め合わせ)するものです。

期間中のローソンATMのご利用は約192万件となり、その結果、CO₂385トン分がオフセットされました。購入した排出権は日本政府の償却口座に無償移転され、日本の温室効果ガス削減目標マイナス6%の達成に貢献することとなります。



地域貢献室
室長 河部 正

地球環境を守るのは、私たち企業が率先して取り組むべき社会的責務です。中でも、昨年から今年にかけて全世界が共同で取り組むべき緊急の課題として関心が高まっている地球温暖化問題について、当行はお客さまへの情報提供、金融面でのお手伝いなど幅広い取組みを行っています。

これからも、環境面でも地域を守り、地域とともに生きることが私たちの使命だと考えて、皆さまのお役に立つよう努力してまいります。



優れた経営者を表彰
 財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団

九州・山口地域において産業の開発、経済の発展に特に寄与している中堅・中小企業で、経営面・技術面に優れた業績を有する経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しています。

昭和47年の財団設立以来、表彰は35回を数え、受賞者は135名となりました。

また、受賞者が経営する企業のうち26社が上場または店頭公開を果たされています。



アジア諸国との交流の掛け橋
 財団法人西日本国際財団

近隣アジア諸国との国際交流推進により、国際相互理解の促進及び国際的人材の育成をはかり、国際親善と世界平和の推進に寄与することを目的としてさまざまな活動を行っています。

当財団が毎年表彰する「アジア貢献賞」では、九州・山口地域でアジアの発展及びアジアとの国際交流に貢献している団体・個人を、また、「アジアKids大賞」では、アジアとの国際交流事業を通じ、相互理解と友好親善の促進に貢献している九州・山口地域の学校等を表彰しています。



世界の子どもたちの未来へ
 財団法人日本ユニセフ協会九州本部

世界中の子どもたちが平和で健康に暮らせるようにと活動する日本ユニセフ協会の九州本部事務局を昭和45年の設立以来当行が担当しています。

募金や古切手、書損はがきの収集による金銭の支援のほか、学校や職場での講演や写真展の開催などの広報活動も行っています。

また、当行は、その活動に合わせ、全営業店に募金箱を設置するなどさまざまなサポートを行っています。



毎月1回コンサートへおいでになりませんか
 財団法人福岡文化財団

本店エントランスホールが毎月1回コンサートホールに早変わりします。地域の皆さまへ生の音楽をお届けする「プロムナードコンサート」は23年間地域の皆さまに親しまれ平成20年11月で275回を迎えました。

主催である(財)福岡文化財団は、昭和60年に設立され、美術、音楽等の文化事業を通してより豊かな地域社会づくりに貢献するためにさまざまな活動を行っています。

なかでも本物の音楽やパフォーマンスを身近に感じて欲しいとの願いを込めて、福岡市内の小学校で開催している「ふれあいライブ」は、子どもたちに大変喜ばれています。

コタエがある。

ミニディスクロージャー誌
業績・財務データ

平成 20 年 9 月 期

(平成20年4月1日～平成20年9月30日)



ココロがある。コタエがある。

西日本シティ銀行



CONTENTS

コタエがある。SIDE

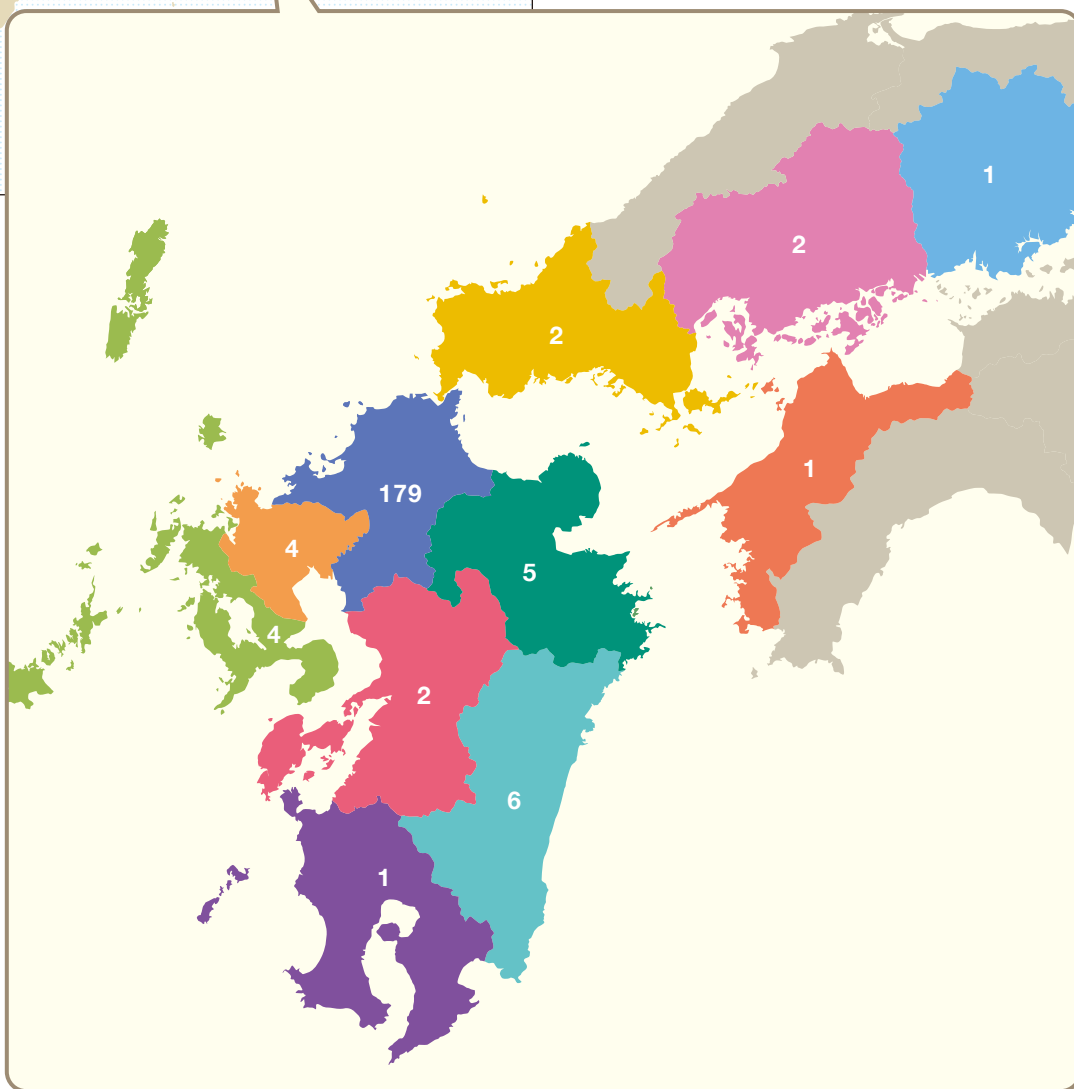
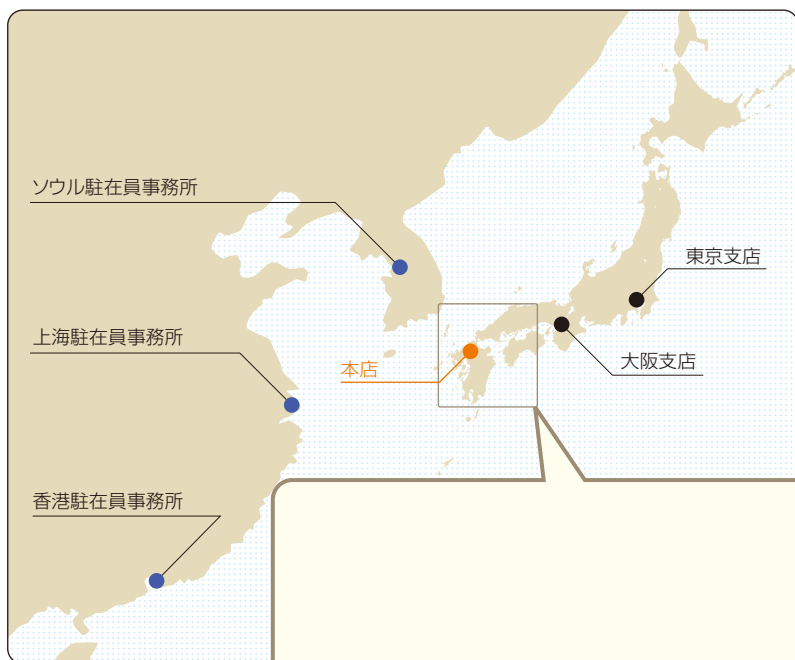
店舗網のご案内	①
平成20年9月期業績ハイライト	②
株式の状況	⑤
平成20年9月期中間財務諸表	⑥

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前3丁目1番1号
資本金	857億45百万円
店舗数	209か店
従業員数	4,132名
総資産	6兆7,439億円
預金・譲渡性預金残高	6兆138億円
貸出金残高	4兆7,086億円

(平成20年9月30日現在)



●店舗数209店舗(本・支店、出張所計)

都道府県内訳

(単位:店)

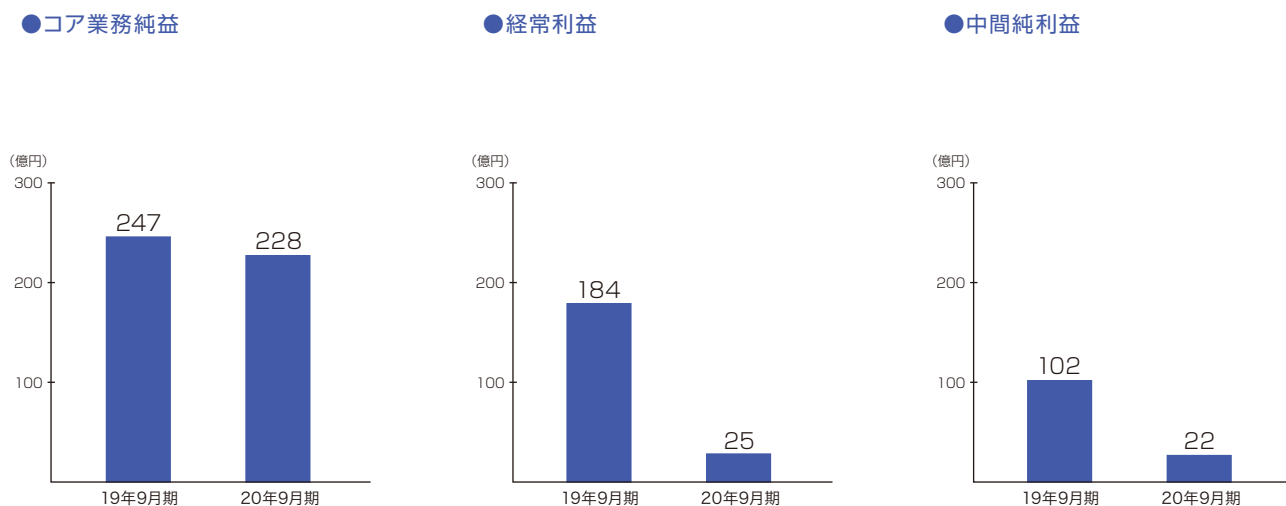
福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
179	4	4	2	5	6	1
山口県	広島県	岡山県	愛媛県	大阪府	東京都	
2	2	1	1	1	1	

●海外駐在員事務所/3カ所
(ソウル、上海、香港)

●ATM / 1,851台
(店内910台、店外941台)
うちコンビニATM421台
(ローソン326台、am/pm95台)
(平成20年10月末現在)

損益の状況 (単体)

資金の効率的な運用および経費削減に努めてまいりましたが、預金利息の増加が貸出金利息の増加を上回ったこと等により、平成20年9月期のコア業務純益は228億円となりました。また、信用コストの増加や保有株式の減損処理費用の増加等により経常利益は25億円、中間純利益は22億円となりました。



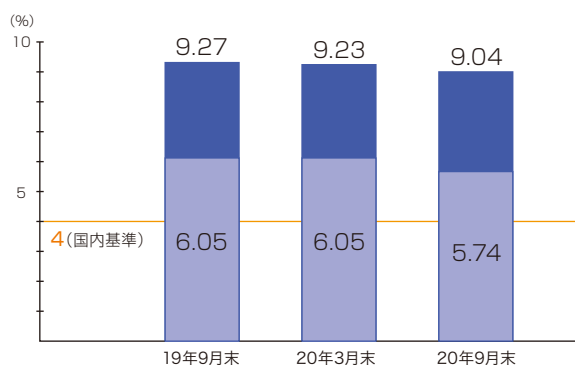
自己資本比率の状況

平成20年9月末の自己資本比率は、単体、連結ともに9.04%となりました。また、中核的自己資本であるTier I 比率は、単体で5.74%、連結で5.70%となりました。今後も資本の充実を図り、自己資本比率の向上に努めてまいります。

● 自己資本比率・Tier I 比率

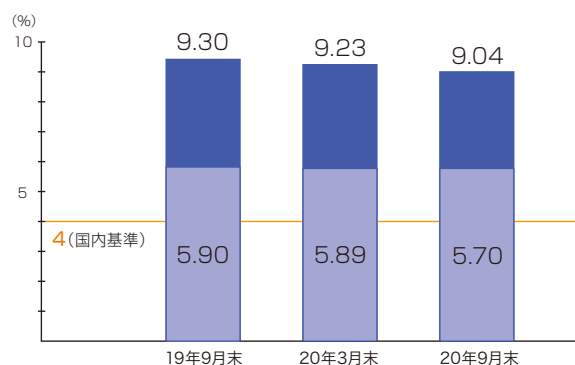
[単体]

■ 自己資本比率
■ うちTier I 比率



[連結]

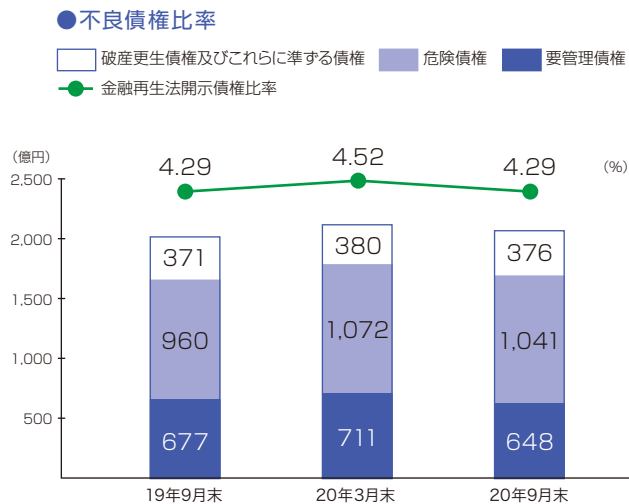
■ 自己資本比率
■ うちTier I 比率



不良債権の状況（※分割子会社合算ベース）

平成20年9月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定結果に基づき、償却・引当を実施した結果、平成19年9月末比56億円増加し2,066億円となり、開示債権比率は4.29%となりました。

※分割子会社合算ベース＝銀行単体+NCBターンアラウンド株式会社



用語説明

コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益 (除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。
国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本 (資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

Tier I 比率

自己資本のうち資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目をもとに算出される自己資本比率です。

用語説明 ～金融再生法による開示債権の定義～

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

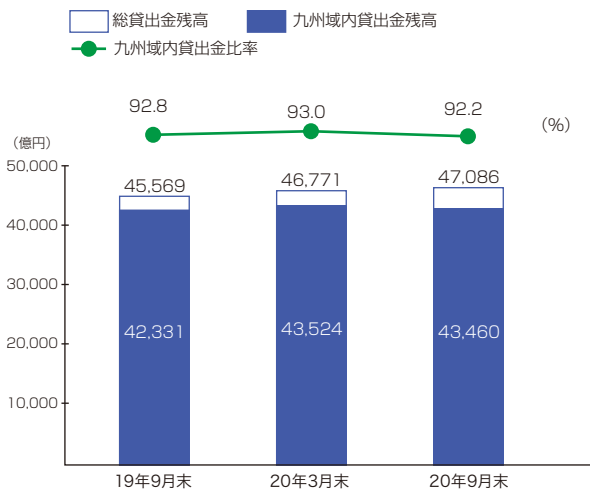
債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

要管理債権

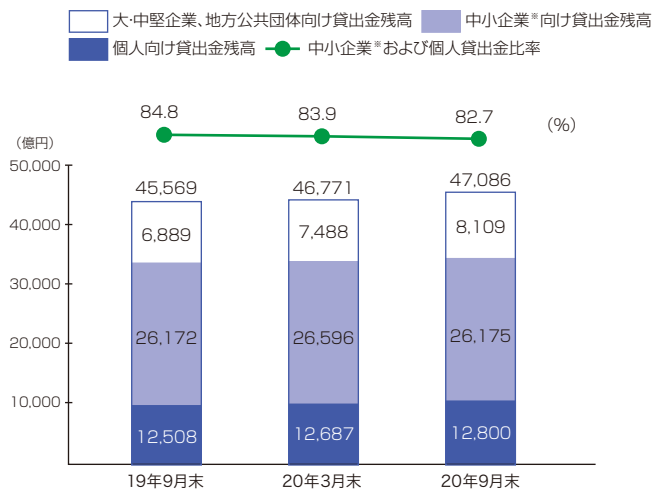
3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

貸出金の状況

● 貸出金と地域の内訳



● 貸出金と対象先の内訳

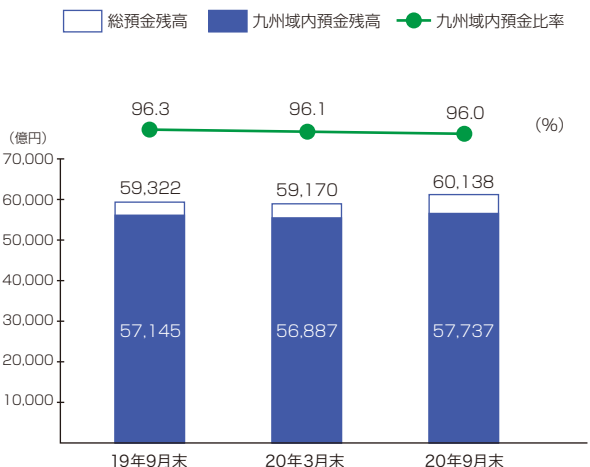


平成20年9月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が92.2%、また、中小企業*および個人への貸出金の比率が82.7%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心とした様々な資金ニーズにお応えしております。

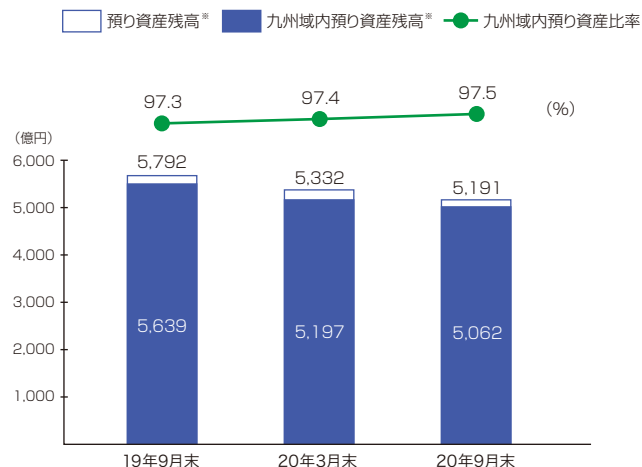
※中小企業…資本金3億円(但し、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社および個人事業主

預金・預り資産の状況

● 預金(譲渡性預金を含む)と地域の内訳



● 預り資産(投資信託・個人年金保険)と地域の内訳



平成20年9月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が96.0%、預り資産(投資信託・個人年金保険)のうち九州域内での預り資産の比率が97.5%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

※預り資産残高=投資信託残高+個人年金保険販売累計額

株式の状況

発行可能株式総数	1,800,000,000株	〔内普通株式 1,500,000,000株 内優先株式 300,000,000株〕
平成20年9月30日の発行済株式の総数	831,732,552株	〔内普通株式 796,732,552株 内第一回優先株式 35,000,000株〕
平成20年9月30日の株主数		〔普通株式 23,865名 第一回優先株式 1名〕

大株主（普通株式）

(平成20年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	78,596	9.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	52,937	6.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	33,089	4.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	30,013	3.76
日本生命保険相互会社	20,477	2.57
富士火災海上保険株式会社	18,746	2.35
東京海上日動火災保険株式会社	14,099	1.76
株式会社みずほコーポレート銀行	13,507	1.69
株式会社りそな銀行	11,000	1.38
明治安田生命保険相互会社	10,945	1.37

(注) 1.所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

大株主（第一回優先株式）

(平成20年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	35,000	100.00

株式のご案内

- 1. 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2. 定時株主総会** 6月に開催いたします。
- 3. 配当金の**
お支払いについて **期末配当金** 3月31日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対してお支払いいたします。
中間配当金 取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対してお支払いいたします。
配当金のお受取りには、お近くの当行本支店または出張所の「預金口座振込」をご利用いただけますと、速くて便利です。
- 4. 基準日** 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5. 公告方法** 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6. 株式名義書換など**
(1)株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
(2)同事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
電話：福岡(092)741-0284
郵便物送付先 | 〒137-8650
お問合せ先 | 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部
●住所変更等用紙のご請求 ☎0120-707-842 ●その他のご照会 ☎0120-707-843
(3)同 取 次 所 日本証券代行株式会社本支店

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成20年9月30日現在)

(単位:百万円) 中間連結損益計算書 (平成20年4月1日~平成20年9月30日) (単位:百万円)

科 目		金 額	科 目		金 額	科 目		金 額
資産の部			負債の部			経 常 収 益		90,209
現金預け金	218,214	預 金	6,146,129	資金運用収益	71,393	(うち貸出金利息)	(58,935)	
コールローン及び買入手形	6,408	譲渡性預金	114,180	(うち有価証券利息配当金)	(11,794)	信託報酬	5	
買入金銭債権	38,494	コールマネー及び売渡手形	76,116	役員取引等収益	15,204	特定取引収益	89	
特定取引資産	3,746	債券貸借取引受入担保金	104,696	その他業務収益	2,106	その他経常収益	1,409	
金銭の信託	7,940	借入金	49,295	経 常 費 用	81,927	資金調達費用	13,359	
有価証券	1,588,698	外国為替	38	(うち預金利息)	(9,999)	役員取引等費用	5,021	
貸出金	4,932,352	社債	97,000	その他業務費用	3,558	営業経費	42,241	
外国為替	1,312	信託勘定借	5	その他経常費用	17,746	その他経常費用	17,746	
その他資産	41,859	その他負債	52,337	経 常 利 益	8,282	特別利益	594	
有形固定資産	122,541	退職給付引当金	11,716	特別損失	851	税金等調整前中間純利益	8,026	
無形固定資産	3,506	役員退職慰労引当金	929	法人税、住民税及び事業税	297	法人税等調整額	△ 0	
繰延税金資産	79,385	時効預金払戻損失引当金	737	少数株主利益	97	中間純利益	7,632	
支払承諾見返	104,983	偶発損失引当金	951					
貸倒引当金	△ 77,969	再評価に係る繰延税金負債	22,788					
投資損失引当金	△ 2,554	支払承諾	104,983					
		負債の部合計	6,781,906					
		純資産の部						
		資本金	85,745					
		資本剰余金	90,301					
		利益剰余金	75,114					
		自己株式	△ 614					
		(株主資本合計)	(250,547)					
		その他有価証券評価差額金	△ 17,721					
		繰延ヘッジ損益	2					
		土地再評価差額金	28,372					
		為替換算調整勘定	△ 0					
		(評価・換算差額等合計)	(10,653)					
		少数株主持分	25,813					
		純資産の部合計	287,013					
資産の部合計	7,068,919	負債及び純資産の部合計	7,068,919					

中間連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日~平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年3月31日残高	85,745	90,301	71,033	△ 597	246,482
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 3,601		△ 3,601
中間純利益			7,632		7,632
自己株式の取得				△ 27	△ 27
自己株式の処分			△ 4	10	6
土地再評価差額金の取崩			55		55
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	4,081	△ 16	4,064
平成20年9月30日残高	85,745	90,301	75,114	△ 614	250,547

	評価・換算差額等					少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成20年3月31日残高	△ 986	△ 2	28,428	△ 0	27,440	25,615	299,538
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当							△ 3,601
中間純利益							7,632
自己株式の取得							△ 27
自己株式の処分							6
土地再評価差額金の取崩							55
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△ 16,735	4	△ 55	0	△ 16,787	197	△ 16,589
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 16,735	4	△ 55	0	△ 16,787	197	△ 12,525
平成20年9月30日残高	△ 17,721	2	28,372	△ 0	10,653	25,813	287,013

個別中間財務諸表

中間貸借対照表 (平成20年9月30日現在)

(単位:百万円) 中間損益計算書 (平成20年4月1日~平成20年9月30日) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	182,698	預金	5,887,481
コールローン	6,408	譲渡性預金	126,330
買入金銭債権	14,721	コールマネー	76,116
特定取引資産	3,741	債券貸借取引受入担保金	104,696
金銭の信託	7,940	借入金	72,523
有価証券	1,588,554	外国為替	38
貸出金	4,708,626	社債	82,000
外国為替	1,312	信託勘定借	5
その他資産	39,179	その他の負債	29,192
有形固定資産	117,758	未払法人税等	261
無形固定資産	2,675	リース債務	111
繰延税金資産	74,215	その他の負債	28,819
支払承諾見返	69,753	退職給付引当金	10,667
貸倒引当金	△ 59,496	役員退職慰労引当金	717
投資損失引当金	△ 14,116	時効預金払戻損失引当金	701
		偶発損失引当金	869
		再評価に係る繰延税金負債	22,241
		支払承諾	69,753
		負債の部合計	6,483,333
		純資産の部	
		資本金	85,745
		資本剰余金	85,684
		資本準備金	85,684
		利益剰余金	78,447
		利益準備金	61
		その他利益剰余金	78,386
		圧縮積立金	3
		別途積立金	76,039
		繰越利益剰余金	2,342
		自己株式	△ 614
		(株主資本合計)	(249,263)
		その他有価証券評価差額金	△ 16,998
		繰延ヘッジ損益	2
		土地再評価差額金	28,372
		(評価・換算差額等合計)	(11,376)
		純資産の部合計	260,639
資産の部合計	6,743,973	負債及び純資産の部合計	6,743,973

科目	金額
経常収益	82,741
資金運用収益	66,508
(うち貸出金利息)	(54,724)
(うち有価証券利息配当金)	(11,402)
信託報酬	5
役務取引等収益	12,747
特定取引収益	89
その他業務収益	2,070
その他経常収益	1,319
経常費用	80,169
資金調達費用	13,086
(うち預金利息)	(9,439)
役務取引等費用	5,630
その他業務費用	3,551
営業経費	37,699
その他経常費用	20,201
経常利益	2,571
特別利益	428
特別損失	648
税引前中間純利益	2,351
法人税、住民税及び事業税	52
法人税等調整額	8
中間純利益	2,290

(ご参考)

信託財産残高表 (平成20年9月30日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
有形固定資産	1,539	包括信託	1,699
銀行勘定貸	5		
現金預け金	155		
資産の部合計	1,699	負債の部合計	1,699

中間株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日~平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金					
				圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成20年3月31日残高	85,745	85,684	85,684	61	4	59,693	19,948	79,707	△ 597	250,539
中間会計期間中の変動額										
剰余金の配当							△ 3,601	△ 3,601		△ 3,601
圧縮積立金取崩					△ 0		0	-		-
別途積立金積立						16,346	△ 16,346	-		-
中間純利益							2,290	2,290		2,290
自己株式の取得									△ 27	△ 27
自己株式の処分							△ 4	△ 4	10	6
土地再評価差額金の取崩							55	55		55
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)										
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	△ 0	16,346	△ 17,605	△ 1,259	△ 16	△ 1,276
平成20年9月30日残高	85,745	85,684	85,684	61	3	76,039	2,342	78,447	△ 614	249,263

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日残高	△ 1,620	△ 2	28,428	26,806	277,346
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△ 3,601
圧縮積立金取崩					-
別途積立金積立					-
中間純利益					2,290
自己株式の取得					△ 27
自己株式の処分					6
土地再評価差額金の取崩					55
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	△ 15,377	4	△ 55	△ 15,429	△ 15,429
中間会計期間中の変動額合計	△ 15,377	4	△ 55	△ 15,429	△ 16,706
平成20年9月30日残高	△ 16,998	2	28,372	11,376	260,639